

# 埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## タスク・シフト/シェアに関する 厚労省指定講習会 (埼玉003) に参加して

去る2021年12月12日(日)に東武医学技術専門学校で開催された「タスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会(埼玉003)」に参加された会員の方の感想を紹介します。また、講習を終えられて、自施設でタスク・シフト/シェアを即実践された方の体験談も紹介します。

埼玉県済生会栗橋病院

山田 貴士



令和3年10月1日より臨床検査技師に関する法律が一部改正され、タスク・シフト/シェアとして10項目の業務を行えるようになりました。これに伴い日本臨床検査技師会のホームページよりWebでの基礎講義を約700分間受講した上で、令和3年12月12日に埼玉県の東武医学技術専門学校で実技講習会を受講してきました。

今回10項目の中で一番難しいと感じたのが静脈路確保です。留置針を刺入し、内針を固定し、外針だけを押し進めるという手順で内針をうまく固定できないため外針を押し進めることができず、慌ててしまい、駆血帯をはずすのも忘れてしまいました。普段外来や処置室で看護師が行っているのを目にしますが、いざ自分が行うと頭が真っ白になり、勉強してきたようにはできませんでした。

持続皮下グルコース検査では実際にFreeStyleリブレを使って検査者と被験者に分かれて行いました。1回だけということで自ら挙手をして検査者側をやらせていただきました。準備して気付いたことはセンサーを準備して中を見ても意外に針が太く感じ、刺すときに痛みを感じるのではないかということでした。刺した後被験者の方に聞いてみるとやはり少し痛みがあると言っていたので患者に行う場合はより丁寧な説明が必要だと思います。また測定に関してもReaderとスマートフォンのどちらを使っても測定誤差がなく、近くにかざすだけで測定出来るので便利だと思う反面、お年寄りの方にはわかりやすい手順書等を作らないと難しいと思いました。

今回実技講習を行い、もう少し自施設で研修を行う必要があるのと同時に、検査によっては患者への説明も配慮しなければならないと感じました。今回の講習会で教わったことを自施設で行うようになったときにいつでも出来るよう準備したいと思います。

最後に今回の講習会の講師の皆様、埼玉県臨床検査技師会会長をはじめ実務委員の皆様には厚く御礼申し上げます。





## 研究班研修会報告

### テーマ 自宅で鏡検実習!!④ あなたのパソコンが顕微鏡に!? (円柱編)

主催 一般検査研究班

実施日時：令和3年11月26日 19時00分～20時00分

会場：Web開催 点数：専門教科－20点

講師：渡邊 裕樹（埼玉医科大学総合医療センター）

参加人数：会員113名

出席した研究班班員：藤村和夫 室谷明子 柿沼智史 佐々木菜緒 渡邊裕樹 小針奈穂美  
中川禎己

#### 研修内容の概要・感想など

今回の研修会は、シリーズ化している「自宅で鏡検実習!!④」の円柱編について渡邊氏より講演があった。

円柱は、尿蛋白の増加と共に出現傾向が増加し、特に顆粒円柱とろう様円柱については、その傾向が著しい。しかし、尿蛋白が陰性であっても、円柱が出現する場合もあるため、これらの円柱を検出することは、腎疾患における将来的なリスクを減少させることが期待できる。

また、動画を用いて、弱拡大における無染色の硝子円柱とS染色された硝子円柱との比較や、一般的に鑑別が困難とされている上皮円柱と白血球円柱の鑑別など詳しく解説されていた。顕微鏡と同等の感覚で動画を見ることができ、染色性や封入された細胞成分の鑑別方法など、今後のルーチン検査において、非常に参考となる内容であった。特に円柱の種類により、臨床的意義が異なるため、封入された細胞成分の形態をしっかりと観察し、鑑別することが重要である。そのためには、円柱を鏡検する際はS染色することが望ましいとのことであった。

円柱は、腎実質の病態を反映する重要な沈渣成分の一つである。そのため、円柱を見落とさず、検出率を上げる鏡検方法が必要となる。渡邊氏の施設では、全ての沈渣をS染色し、鏡検しているとのことであった。尿沈渣検査の精度を維持、向上させるための鏡検方法を考える機会でもあった。

(文責：室谷明子)

### テーマ 病理検査室でのISO15189について

主催 病理検査・細胞検査研究班

実施日時：令和3年12月10日 18時00分～19時00分

会場：Web開催 点数：基礎教科－20点

講師：小島 朋子（自治医科大学附属さいたま医療センター 病理部）

小澤 英樹（株式会社ピーシーエルジャパン 病理細胞診センター）

参加人数：会員71名

出席した研究班班員

病理検査研究班：岡村卓哉 関口久男 森田繁 高橋俊介 細沼佑介 今村尚貴 小島朋子

細胞検査研究班：加藤智美 鶴岡慎悟 船津靖亮 松内萌 野本伊織 稲山拓司 急式政志

山崎泰樹

#### 研修内容の概要・感想など

今回の研修会は、「病理検査室でのISO15189」と題し、県内でのISO取得の実態や日頃疑問に思っていること、要求事項の再整理等について講演が行われた。

まず、病理・細胞検査研究班班員の協力のもと、病理検査室におけるISO15189の取得状況や苦勞・疑問に思っている点等についてアンケート調査を行った。取得割合は2-3割程度に留まり、ハードルの高さが窺われた。また、日頃から疑問に思っている点なども多数挙げられた。



これら調査の結果を踏まえて、講師の小澤氏より「ISO15189病理検査室運用における指摘や疑問その解釈について」と題し、5章のおさらい、遭遇しやすい指摘事項や疑問・運用との差異、病理検査室運用における注意点を主に講演が行われた。第三者による評価の重要性や、疑問点として多く挙がっていた分野である、5章で特に病理検査室で指摘されやすい箇所等についても例示された。また、文書管理と実運用で起きがちな乖離についても、各施設で注意すべき点であると思われた。端的に標準化することが難しい分野ではあるが、要求事項に対する解釈の一助に繋がったと思われる。単に他施設と同じようにすればよいという解決策はなかなかなく、施設ごとの運用に応じて全員参加型で考えていくことが重要であると思われた。

(文責：小島朋子)

## テーマ 初心者・初級者血液形態セミナー 基本形態から症例提示

主催 血液検査研究班

実施日時：令和3年12月11日 9時00分～12時00分

会場：Web開催 点数：専門教科－20点

講演 1：白血球形態とスキャッタグラム part1

講師：館野 真介（シスメックス株式会社 北関東支店 学術サポート部）

講演 2：初心者・初級者要チェック 血液形態 ～基礎編～

講師：堀内 雄太（川口市立医療センター）

講演 3：白血球形態とスキャッタグラム part2

講師：館野 真介（シスメックス株式会社 北関東支店 学術サポート部）

講演 4：初心者・初級者要チェック 血液形態 ～症例編①～

講師：澁川 絵美（自治医科大学附属さいたま医療センター）

講演 5：初心者・初級者要チェック 血液形態 ～症例編②～

講師：中山 智史（防衛医科大学校病院）

講演 6：初心者・初級者要チェック 血液形態 ～症例編③～

講師：加藤 鉄平（埼玉県済生会栗橋病院）

参加人数：会員37名 賛助会員1名

出席した研究班班員：中山智史 原誠則 網野育雄 神成千晴 軍司雅代 澁川絵美 星聖子  
堀口大介 堀内雄太 加藤鉄平

研修内容の概要・感想など

例年であれば現地開催となる血液形態セミナーであるが、コロナ禍という状況を踏まえ、初めてWeb開催の形式とした。現地開催であれば、参加者一人一人が顕微鏡を覗きながらの実習形式で実施できたが、Web開催であっても、より実習形式に近い研修内容になるよう準備を進めてきた。

白血球形態とスキャッタグラムについては、part1・2に分けて測定原理やスキャッタグラムの見方等を学んだ。それぞれの試薬の特性や、スキャッタグラムから想定できる疾患や病態等、日々の業務に生かせる内容であった。

血液形態については、基礎編と症例編に分けて学んでいった。より多くの細胞を見てもらいたいが、当日は時間も限られているため、事前にホームページ上にデータシートを提示して、参加者が事前に考える時間を設けた。基礎編では約30細胞を提示し、それぞれの細胞の形態的特徴や見極めるポイント等を解説していった。症例編では、初心者や初級者が特に注意してもらいたい症例を3症例、成人T細胞性白血病(ATL)、急性前骨髄球性白血病(M3)、慢性骨髄性白血病(CML)の順に提示した。

Web形式での開催ということもあり試行錯誤の部分もあったが、参加者の要望に応えた研修会になるよう準備を進めていくので、来年度の血液形態セミナーも是非参加していただきたい。

(文責：澁川絵美)

**令和3年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第10回 理事会議事録**

日 時：令和4年1月13日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：現地にて出席

(理事) 神山 矢作 松岡 猪浦 長澤

山口 神嶋 菊池 松尾 伊藤

笹野 塚原 松寄 石井 神戸

阿部 長岡 久保田 長谷川

(監事) 遠藤

Zoomにて出席

(理事) 濱本 飯野

(監事) 細谷

欠 席：(理事) 小山

本日の理事会の出席者は23名であった。理事の出席者は21名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

#### Ⅰ. 行動報告 (令和3年12月9日～令和4年1月12日)

12月9日(木) 令和3年度第9回理事会：

神山、矢作、松岡、猪浦、濱本、長澤、山口、神嶋、菊池、松尾、伊藤、笹野、塚原、松寄、石井、神戸、阿部、長岡、久保田、飯野、長谷川、遠藤、細谷

12月9日(木) 第8回事業部会議：

矢作、伊藤、笹野、塚原、松寄

12月12日(日) タスク・シフト/シェア指定講習会：

神山、矢作、猪浦、濱本、長岡、阿部、伊藤、笹野、松寄、塚原、神戸

12月13日(月) 浦和商業開発株式会社訪問：

伊藤、塚原

12月15日(水) 日臨技表彰審査委員会：神山

12月16日(木) 第50回埼玉県医学検査学会実行委員会：飯野

12月17日(金) 第49回埼玉県医学検査学会実行委員会：神嶋、飯野

12月20日(月) 埼臨技予算委員会：

神山、松岡、猪浦、長澤、山口、伊藤、長岡、阿部、石井、神戸

12月23日(木) 日臨技共済制度委員会：神山

12月30日(日) 事務所巡回：長澤

1月2日(火) 事務所巡回：小山

#### Ⅱ. 報告事項

##### 1 事務局

1) 12月12日(日) タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 埼玉県003を開催した。(別紙資料1)

2) 「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」テキストの記載内容に誤りがあり、日臨技より修了者にメールで知らされた。

3) 12月9日(木) 付け栃木県臨床検査技師会にTOCHIGIセミナー共催依頼を回答した。

4) 株式会社セカンドブリューより技師会事務所駐車場の一部と事務所前の私道持ち分の交換の提案があった。(別紙資料2)

5) 令和4年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会の開催中止に伴い、招待者へ記念品と書面を送付した。

6) 12月24日(金) 付け一般社団法人日本臨床検査学教育協議会に第16回日本臨床検査学教育学会学術大会名義後援を回答した。

7) 日臨技より、地域ニューリーダー育成研修会(第7回)の案内が送付された。

##### 2 総務部

1) 1月15日(土) 埼臨技だより第512号発行予定。

2) 2月27日(日) 女性技師企画研修委員会が研修会を開催する。株式会社じほうの取材がある予定。

##### 3 事業部

1) 12月9日(木) 事業部会議を行った。

(別紙資料3)

2) 12月13日(月) 令和4年度全国「検査と健康展」開催に向け、浦和商業開発株式会社開発営業部にて面談・会場下見を行った。

(別紙資料4)

3) 1月22日(土) 埼臨技事務所にて18:30より臨床検査技師養成校連絡協議会会議開催予定。

#### 4 学 術 部

- 1) 1月5日(水)生涯教育研修プログラム2月・3月分の行事登録(日臨技システム)完了。

#### 5 精度保証部

- 1) 日臨技精度保証施設認証制度から日臨技品質保証施設認証制度へ名称が変更される。この変更に伴い変更点や注意点があったため、埼臨技だより1月号に掲載予定。

#### 6 会 計 部

- 1) 令和3年度正会員費8名40,000円、入会金5名5,000円、再入会金3名3,000円、合計48,000円の入金があった。
- 2) 石井印刷に埼臨技だより第511号印刷代119,009円、封筒代128,865円、埼臨技会誌Vol.68(2)印刷代453,002円、仕分け料25,630円を支払った。
- 3) 12月20日(月)予算委員会を開催した。

(別紙資料5)

#### 7 精度管理委員会

特になし

#### 8 一都八県会長会議

特になし

#### 9 日臨技関甲信支部

特になし

#### 10 日臨技

特になし

#### 11 第49回埼玉県医学検査学会

- 1) 12月17日(金)第49回学会実行委員会を開催した。

(別紙資料6)

#### 12 第50回埼玉県医学検査学会

- 1) 12月16日(木)第50回学会実行委員会を開催した。

(別紙資料7)

### Ⅲ. 承認事項

#### 1 事務局

- 1) 会員動向(令和3年度分)

令和4年1月1日現在  
会員数 3,355名[令和2年度会員数3,214名]  
(新入会員 277名)  
賛助会員 76社[令和2年度 78社]  
承認された。

- 2) 令和3年度臨時会員総会役員について

(別紙資料8)

上記の件について、長澤英一郎事務局次長より発言があり、審議の結果、承認された。

- 3) 令和4年度理事会開催日程について

(別紙資料9)

上記の件について、濱本隆明事務局次長より発言があり、審議の結果、令和4年4月から6月までの開催日について承認された。

- 4) 令和4・5年度日臨技理事の推薦について  
本会より、神山清志会長を令和4・5年度日臨技理事候補者として推薦したい。

上記の件について、長澤英一郎事務局次長より発言があり、審議の結果、承認された。

- 5) 災害時支援協定書の締結について

(別紙資料10)

上記の件について、矢作強志副会長より発言があり、審議の結果、日臨技との災害時支援協定書を締結することについて承認された。

- 6) 技師会事務所の土地と私道持ち分の交換について

上記の件について、神山清志会長より発言があり、審議の結果、技師会事務所前の私道持ち分1/6と技師会事務所駐車場の一部の持ち分交換について承認された。

#### 2 総務部

特になし

#### 3 事業部

特になし

#### 4 学術部

- 1) 令和4年度研究班事業計画について

(別紙資料11)

上記の件について、長岡勇吾学術部長より発言があり、審議の結果、承認された。

- 2) 第49回埼玉県医学検査学会各賞受賞者案について

(別紙資料12)

上記の件について、久保田亮理事より発言があり、審議の結果、承認された。

#### 5 精度保証部

特になし

#### 6 会計部

特になし

#### 7 精度管理委員会

特になし

#### 8 第49回埼玉県医学検査学会

特になし

#### 9 第50回埼玉県医学検査学会

特になし

## IV. 議題

## 1 事務局

- 1) 令和3年度臨時会員総会議案書について  
上記の件について、長澤英一郎事務局次  
長より発言があり、審議の結果、可決され  
た。

## 2 総務部

特になし

## 3 事業部

特になし

## 4 学術部

特になし

## 5 精度保証部

特になし

## 6 会計部

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を  
謝して閉会とした。



## 埼玉県臨床検査技師会OB会入会 へのお誘い

埼玉県臨床検査技師会OB会は、定年退職された方や長く賛助会員として勤め上げた方で組織し、親交を深めています。また、埼臨技の支援をいただき学会参加や埼臨技会報など配布し、これまで同様に技師会との変わらない絆を大切にしています。

OB会の趣旨、活動に賛同し入会を希望する方は、下記記載のメールアドレスまたは電話で問い合わせいただきたくご案内申し上げます。

埼玉県臨床検査技師会事務所内

E-mail : sairingi-ob@sairingi.com

Tel : 048-824-4077

## あ と が き

今年1月、阪神・淡路大震災発災から27年が経ち、3月は東日本大震災発災から11年を迎える。その後も人命に関わる地震・集中豪雨・土砂崩壊等自然災害が多く発災している。HVA (Hazard Vulnerability Assessment) は、災害が起こる以前の対策としてあらかじめ災害への脆弱性を評価しておくものと日本語訳されている。可能性、危険度、準備に分けそれぞれ点数付けし点数を掛け合わせた総得点が高いほど脆弱性が大きいと評価される。

災害とは？ リスク×頻度(現実性)。リスクとは？ ハザード×脆弱性と言われ、ハザードは地震・水害・大雪・鉄道・スタジアム等が挙げられ、脆弱性とは主に非耐震や河川より低地、救急病院や消防署の少なさ、交通等のアクセス難(例えば道幅が狭い)等がある。皆様も一度自宅から職場または避難所までの道程の中、ブロック塀倒壊の可能性、落下物の可能性、河川等の氾濫の危険性等改めて確認してみても如何でしょうか。追記です。若い世代に災害時の役割等について話すと、関東圏在住が多いせいか「阪神・淡路大震災は聞いたことがあります。福知山線脱線事故？ 知りません。自分が生まれる前の出来事なので。東日本大震災は体験しています。」とのこと。世代が移り変わっていることを実感します。これは50才半ばを過ぎた私が体験のない関東大震災と同じ認識かも。災害が風化しないように。

(矢作 記)

